

モニタリング結果報告書

平成18年7月

政策体系	番 号	
基本目標	1	安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること
施策目標	3	利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること
	II	総合的な医療安全確保対策の推進を図ること
担当部局・課	主管部局・課	医政局総務課
	関係部局・課	
実績目標 1	医療事故防止に関する医療機関等の自主的な取組を支援し、医療安全支援センターの設置数について前年度を上回るものとする。	
<p>(実績目標を達成するための手段の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策に関する総合的かつ具体的な検討を目標として、幅広い分野の有識者から構成された医療安全対策検討会議を開催している。 医療機関等における医療安全対策の推進を目的として、医療安全対策ネットワーク整備事業（ヒヤリ・ハット事例収集等事業）、「医療安全推進週間」における患者安全確保事業（PSA）や医療安全に関するワークショップ、シンポジウム等を実施している。 <p>さらに、ヒヤリ・ハット事例収集等事業については、協力機関を全国規模に拡大するなど情報収集の充実を図っている。今後は、規模・地域等を調整した定点医療機関での情報の充実を図り、事業の質の向上と体制強化を図るものとする。</p> <p>○関連する経費（平成17年度予算額）</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策検討会議 31 百万円 医療安全対策に関するワークショップの開催 16 百万円 医療安全支援センター総合支援事業 103 百万円 <p>(評価指標の考え方)</p> <p>1 医療安全支援センターの設置状況（箇所）</p> <p>：都道府県並びに保健所設置市区に設置されている医療安全支援センターの整備状況。</p> <p>→医療安全支援センターの設置を進め、相談体制の充実が図られたかを評価する。</p> <p>2 医療安全対策ネットワーク整備事業によるヒヤリ・ハット事例収集件数（件）</p> <p>：参加登録病院から（財）日本医療機能評価機構に報告された、ヒヤリ・ハット事例の収集・分析された件数。（平成15年度までは、医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構（現（独）医薬品医療機器総合機構）にて収集事業を行った。）</p> <p>→事故防止のためのシステムとして事例を収集・分析を行い、再発防止が図られ</p>		

たかを評価する。

3 医療安全に関するワークショップの受講者数 (人)

：厚生労働省並びに地方厚生局において医療安全対策に関する知識等の修得、討議等を行う。

→医療安全対策に関する研修等を行い、専門的知識、技術を持った人材が養成されたかを評価する。

(評価指標)	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
1 医療安全支援センターの設置状況 (箇所)	—	—	63	81	88
2 医療安全対策ネットワーク整備事業によるヒヤリ・ハット事例収集 件数 (件)	H 1 3 15,063	H 1 4 30,144	H 1 5 56,786	H 1 6 191,043	H 1 7 226,740
3 医療安全に関するワークショップ の受講者数 (人)	H 1 3 —	H 1 4 3,962	H 1 5 3,131	H 1 6 3,413	H 1 7 4,024

(備 考)

医政局総務課医療安全推進室調べによる。

1については、平成15年度より設置を開始している。

2については、平成13年10月から事業を開始したものであり、平成13年度は平成13年10月～平成14年3月までの統計、平成14年度以降については各病院から報告が行われている時期の関係により平成14年度は平成14年4月～12月まで、平成15年度は平成15年1月～12月までの統計となる。また、平成16年度以降についても1月～12月の統計となる。(平成17年6月までの件数)

なお、数値は累積である。

3については、平成14年度から事業を開始している。